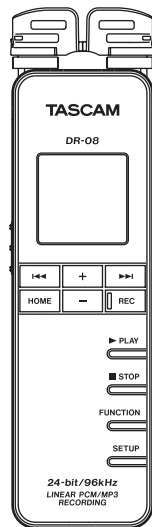
D01104601B

TASCAM
TEAC PROFESSIONAL

DR-08
Linear PCM Recorder

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

⚠警告

この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は、航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。

この機器を絶対に分解しないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

オーディオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電池の取り扱いについて

本製品は、電池を使用しています。誤った使用による発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠警告（乾電池に関する警告）

乾電池は、絶対に充電しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠警告（電池に関する警告）

電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、電池ケースの表示されているとおりに正しく入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属製のものと接触しないように、テープなどで端子を絶縁してください。

使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠警告（電池に関する警告）

指定以外の電池は、使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
液が目に入った時には、失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いたときは、皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

電池の挿入や交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

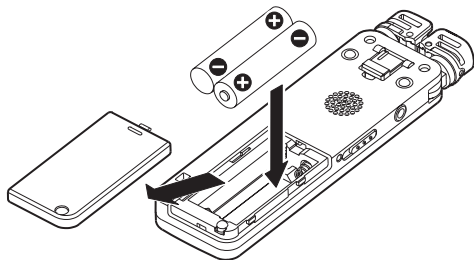
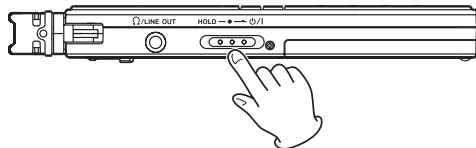
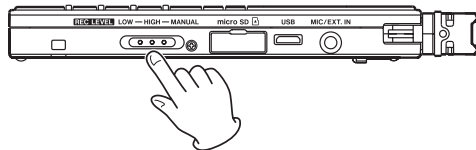
長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

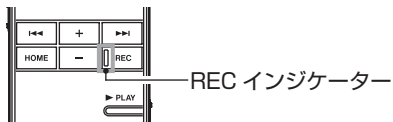
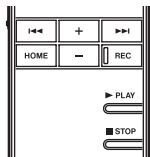
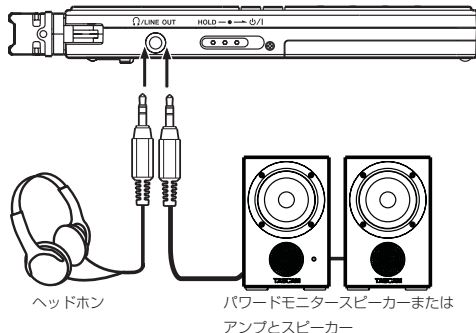
目次

目次

クイックスタートガイド

本機を使って、録音と再生をしてみましょう。
工場出荷時には、あらかじめmicroSDカードが本体に挿入されおり、録音形式はPCM形式44.1kHz、16ビットに設定されています。
録音形式を変更すると、さらに高音質、またはさらに長時間録音ができます。詳しくは、40ページ「録音品質を設定する」をご参照ください。

1. 本機の裏面にある電池ケースに電池を入れます。電池ケース内の⊕と⊖表示に合わせて電池をセットしてください。

2. 電源をオンにします。左サイドパネルにある **⏻/❙**／**HOLD**スイッチを **⏻/❙** 方向に本機が起動されるまでスライドします。本機が起動したらスイッチを離します。

3. 右サイドパネルにある**REC LEVEL**スイッチを**LOW**にセットします。

原音の音量が小さい場合は、**HIGH**に設定した方が良い場合もあります。また音楽録音の場合は、手動でレベル設定をした方が、より自然な録音が可能です。詳しくは、51ページ「入力レベルを調節する」をご参照ください。

4. RECキーを押すと、録音が始まります。録音中は、RECインジケーターが点灯します。

5. 録音を終了するには、■ STOPキーを押します。

6. ►PLAYキーを押すと、今録音したものが再生されます。
   ヘッドホンで聞く場合や、アンプ／スピーカーシステムで聞く場合は、左サイドパネルにある Ω /LINE OUT端子に機器を接続します。
   本体内蔵のスピーカーで聞く場合は、スピーカー設定をオンにします。（ → 34ページ「内蔵スピーカーで再生する」）

7. 再生音量の調節は、+キーまたは−キーで行います。

8. 再生を停止するには、■ STOPキーを押します。

メモ

録音を複数回行った場合は、◄◄ キーまたは ►►キーを使って再生するファイルを選択します。

第 1 章　はじめに

このたびは、TASCAM Linear PCM Recoder DR-08をお買いあげいただきまして､誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://www.tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 24ビット／ 96kHzリニアPCM録音およびMP3録音
- 高性能ステレオマイク装備
- マイクのアングルを変えることが可能

  Close：ピンポイント音源を狙うインタビューなどに

  Open：拡がり感、ステレオ感のある音楽録音などに

  Open+Rotate：周囲の音を録音、会議などに
- スピーカー内蔵
- 音程を変えずに半分の速度から倍の速度の再生が可能
- 入力信号に応じて録音を自動的に開始／一時停止が可能
- 手動でのファイル分割（PCMファイルのみ）
- 録音レベルを自動的に調節するオートゲインコントロール
- 録音音質を補正するREC EQ機能
- 2段切り換えに加え手動での録音レベルの調節
- 再生時のノイズキャンセル機能
- 再生音質を補正するPLAY EQ機能
- 卓上録音時に使えるスタンド
- 2秒前にさかのぼって録音が可能なプリレック機能
- 部分リピート再生
- ステレオミニジャックの外部マイク／外部機器入力端子（プラグインパワーマイク対応）
- 単4形電池2本、USBバスパワーで駆動
- タイマー録音
- 1 ～ 10秒、20秒、30秒のジャンプバック再生機能
- USB 2.0端子（Micro USB）
- 記録メディアは、microSD ／ microSDHCカード
- 96 x 96ドット、バックライト付LCD
- 再生したい曲をリスト化できるプレイリスト機能

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- microSDメモリーカード（本体差し込み済）　x1
- 単4形アルカリ乾電池　x2
- MicroUSBケーブル（0.8m）　x1
- 保証書　x1
- 取扱説明書（本書）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「**SETUP**キー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“**REPEAT**”のように“_”で括って表記します。
- 各画面表示の下部に表示される機能を、キー名の後ろにカッコ付きで表記する場合があります。

  例：**⏮**“〔Back〕”キー、**⏭**“〔Enter〕”キー。
- 「microSDメモリーカード」のことを「microSDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレー上に表示される文字を《**DR-08**》のように《_》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

第 1 章　はじめに

商標および著作権に関して

- TASCAMは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing. com.
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Microsoft, Windows, Windows XP, Windows Vista, および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、iMac、Mac OS および MacOS X は、Apple Inc. の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

microSDカードについて

本機では、microSDカードを使って記録や再生を行います。使用できるカードは、64MB ～ 2GBのmicroSDカード、および4GB ～ 32GBのmicroSDHCカードです。
TASCAMのウェブサイト（**http：//www.tascam.jp/**）には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

microSDカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  振動の多い場所。
  窓際などの直射日光が当たる場所。
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
  極端に温度が低い場所。
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオからの雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

● パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

● この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししてますので、大切に保管してください。

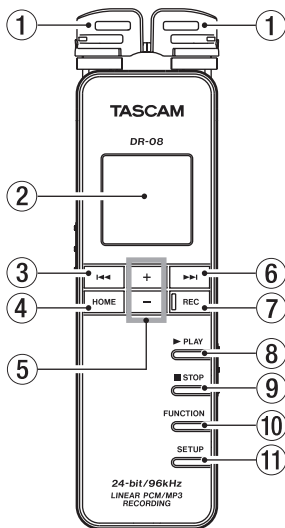
● 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。

● 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

● 万一、故障が発生した場合は、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
本機を使ったシステム内のハードディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

- 型名、型番（DR-08）
- 製造番号（Serial No.）
- 故障の症状（できるだけ詳しく）
- お買い上げ年月日
- お買い上げ販売店名

● お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

トップパネル

① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサータイプのステレオマイクです。本機の右サイドパネルにある**MIC/EXT.IN**端子に外部マイク、または外部機器を接続すると、接続した外部マイク／外部機器入力が優先になり、内蔵ステレオマイクが無効になります。

② ディスプレー

各種情報を表示します。

③ ⏮ キー

再生中、あるいは途中で停止しているときにこのキーを押すと、曲の先頭に戻ります。
ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。
押し続けると早戻しサーチを行います。
各種設定画面表示中は、前の画面に戻ります。
"FILE/FOLDER" 画面では、階層を戻ります。
メニューによっては、機能選択キーになります。
録音待機時は、録音レベルの調節を行います。

④ HOMEキー

ホーム画面に戻ります。
ホーム画面表示中に押すと、直前の画面に戻ります。

⑤ ＋キーおよび－キー

再生時は、出力レベルを調節します。
各種設定画面表示中は、項目や、ファイル／フォルダの選択、機能のオン／オフ、ファイルの分割ポイントの設定を行います。
メニューによっては、機能選択キーになります。

⑥ ►►ıキー

再生中や停止中にこのキーを押すと、次のファイルにスキップします。押し続けると早送りサーチを行います。
各種設定画面表示中は、メニューを開いたり、フォルダを開いたり、設定項目の移動や設定値の確定をします。
メニューによっては、機能選択キーになります。
録音待機時は、録音レベルの調節を行います。

⑦ RECキー／インジケーター

停止中に押すと、**REC LEVEL**スイッチが**LOW**もしくは**HIGH**の時には録音を開始し、**REC**インジケーターが点灯します。
REC LEVELスイッチが**MANUAL**の時には録音待機状態になり、**REC**インジケーターが点滅します。
録音待機状態中に押すと、録音を開始します。
停止中に長押しすると、プリレック待機状態になります。
録音中に押すと、トラックインクリメントします。

⑧ ► PLAYキー

停止中に押すと、再生を始めます。
再生中に押すと、ジャンプバック再生を行います。

⑨ ■ STOPキー

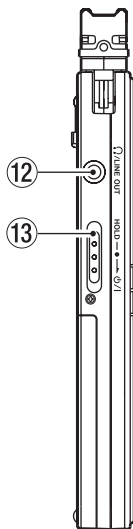
再生や録音を停止、録音待機状態の解除をし、現在の位置で待機します。

⑩ FUNCTIONキー

ホーム画面表示中に押すと、機能メニュー（**"FUNCTICONS"**）画面を表示します。
機能メニュー（**"FUNCTICONS"**）画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

⑪ SETUPキー

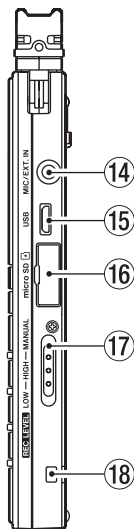
ホーム画面表示中に押すと、設定メニュー（**"SETUP"**）画面を表示します。
設定メニュー（**"SETUP"**）画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

左サイドパネル

⑫ /LINE OUT端子

ヘッドホンまたはステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

⑬ ⏻/❙／HOLD スイッチ

電源のオン／オフの切り換えを行います。また、**HOLD**の位置にスイッチをセットすると、誤操作防止のためのホールド機能が働きます。ホールド中は、全てのキー操作を受け付けません。

右サイドパネル

⑭ MIC/EXT.IN端子

ステレオミニジャックの外部マイク／外部入力端子です。（プラグインパワーマイク対応）

⑮ MicroUSB端子

付属のMicroUSBケーブルを使ってパソコンと接続するためのUSB端子です。

⑯ microSDカードスロット

microSDカードの挿入／取り出しをします。

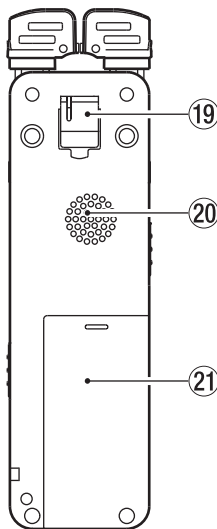
⑰ REC LEVELスイッチ

録音レベルを設定します。**LOW**または**HIGH**にセットした場合は、オートゲインコントロール機能が働き、本機が録音レベルを自動調節します。

MANUALに設定した場合は、トップパネルの**⏮**キーまたは**⏭**キーを使って、録音レベルを手動で設定します。

⑱ ストラップホルダー

ストラップを取り付けます。

ボトムパネル

⑲ スタンド

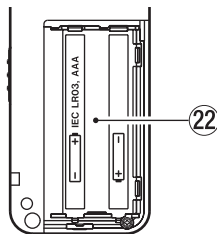
卓上設置時に製品を少し立たせるスタンドです。

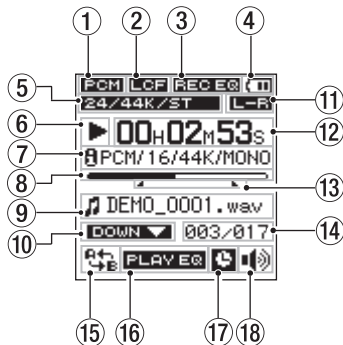
⑳ 内蔵モノラルスピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。録音中や録音待機中または、ヘッドホン／モニターシステムを接続しているとき、または **"SETUP"** メニュー画面内の **"SPEAKER"** 設定項目をオフに設定しているときには、音が出力されません。

㉑ 電池ケースふた

㉒ 電池ケース

本機の電源になる電池（単4形電池、2本）を収納するケースです。（ → 29ページ「単4形電池で使用する」）

ホーム画面

本機のディスプレーには、以下の情報が表示されます。

① ファイル形式表示

録音ファイル形式のアイコンを表示します。

PCM：PCMフォーマット

MP3：MP3フォーマット

② ローカットフィルター機能状態表示

ローカットフィルター機能の状態を表示します。

LCF アイコン表示あり：ローカットフィルターオン

LCF アイコン表示なし：ローカットフィルターオフ

③ 録音時の音質補正機能状態表示

録音時に使用可能な音質補正機能の状態を表示します。

REC EQ アイコン表示あり：

録音時の音質補正機能オン

REC EQ アイコン表示なし：

録音時の音質補正機能オフ

④ 電源供給の状態表示

電池駆動時は、“ ”アイコンを表示します。

電池残量に応じて目盛りがアイコン表示されます（“ ”、“ ”、“ ”）。

目盛り表示がなくなると“ ”アイコンが点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。

パソコンからのUSBバスパワー使用時は、“ ”アイコンを表示します。

⑤ ファイルモード表示

録音するファイルモードを表示します。

ファイル形式がPCMの場合：

量子化ビット数、サンプリング周波数、ステレオまたはモノラルを表示します。

ファイル形式がMP3の場合：

ビットレート、およびステレオまたはモノラルを表示します。

⑥ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
II	一時停止中
►	再生中
►►	早送り中
◄◄	早戻し中
►►I	次のファイルの先頭にスキップ
I◄◄	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑦ 再生ファイル形式表示

現在選択されているファイル形式を“▯”アイコン表示に続けて表示します。

停止時には、カードの録音可能時間表示に切り換わります。

⑧ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑨ ファイル情報表示

再生中のファイルのファイル名、またはタグ情報を表示します。ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報が優先して表示されます。

⑩ 再生スピード機能状態表示

再生スピード機能のオン／オフと再生速度の設定に応じて、以下のアイコンを表示します。

表示	内容
DOWN ▼	50%～90%
表示無し	100%
U P ▲	110%～200%

⑪ マイクの左右設定表示

現在のマイクの左右設定をアイコン表示します。

L-R：左のマイクが左チャンネル、右のマイクが右チャンネルの入力のときに表示します。

R-L：左のマイクが右チャンネル、右のマイクが左チャンネルの入力のときに表示します。

⑫ 時間経過表示

再生中のファイルの経過時間（時:分:秒）を表示します。

⑬ リピート再生のA点（始点）、B点（終点）の設定状況

リピート再生の始点／終点の設定状況を表示します。
始点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に"◢"アイコンが表示されます。
終点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に"◣"アイコンが表示されます。

⑭ 再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象エリアの総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

⑮ リピート再生／再生エリアの設定状態表示

状況に応じて、以下のアイコンを表示します。

：A-Bリピート再生
：再生エリアが全て（ALL）の設定
：再生エリアがフォルダ（FOLDER）の設定
：再生エリアがプレイリスト（PLAYLIST）の設定

⑯ 再生時の音質補正機能状態表示

再生時の音質補正機能の設定状態を表示します。

PLAY EQ アイコン表示あり：オン
PLAY EQ アイコン表示なし：オフ

⑰ タイマー設定状態表示

タイマー録音を設定していると、"◷"アイコンが表示されます。

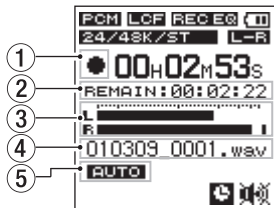
⑱ スピーカー出力表示

スピーカーのオン／オフ設定をアイコン表示します。

：スピーカーから出力します。
：スピーカから出力が停止します。

メモ

録音中や録音待機時、またはヘッドホン／モニタシステムを接続すると、**"SPEAKER"**設定がオンでもスピーカから音は出力されません。

録音画面

① レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中または待機中
●	録音中

② 録音可能残り時間表示

録音可能残り時間を表示します。カードの残り容量や、録音品質設定によって変わります。

③ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。

④ ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

⑤ オートレック機能状態表示

オートレック機能がオンの場合は、“AUTO”アイコンが点灯します。

メニューの構成

FUNCTIONキーを押すと **"FUNCTIONS"** メニュー画面が表示され、**SETUP**キーを押すと **"SETUP"** メニュー画面が表示されます。各メニュー項目は、以下の通りです。

機能メニュー（FUNCTIONS）

メニュー項目	機能
REPEAT（リピート）	A-Bリピート再生を行います。
FILE/FOLDER（ファイル／フォルダ）	microSDカード内のファイル、フォルダ操作をします。
PLAY SPEED（再生スピード）	再生スピードを設定します。
SPLIT FILE（ファイル分割）	ファイルを分割します。
DELETE FILE（ファイル削除）	ファイルを削除します。

設定メニュー（SETUP）

メニュー項目	機能
REC（録音設定）	以下の録音の設定を行います。 • ENCODING（録音品質設定） • EXT. INPUT（外部入力設定） • LOW CUT（低域ノイズカット設定） • REC EQ（録音音質補正設定） • AUTO REC（自動録音設定）
PLAY（再生設定）	以下の再生の設定を行います。 • MODE（再生範囲／リピート範囲設定） • PLAY EQ（再生音質補正設定） • JUMP BACK（ジャンプバック時間設定）

メニュー項目	機能
TIMER （タイマー設定）	タイマー録音の設定を行います。
SPEAKER （スピーカー設定）	スピーカーのオン／オフ設定を行います。
SYSTEM （その他）	以下の設定を行います。 • LR SWAP （内蔵マイクLR設定） • DATE/TIME（日時設定） • AUTO POWER OFF （オートパワーオフ設定） • BACKLIGHT （バックライト設定） • BATTERY TYPE （バッテリータイプ設定） • STEALTH MODE （消灯モード設定） • CONTRAST （ディスプレーのコントラスト設定） • FORMAT（フォーマット） • INITIALIZE（初期化） • INFORMATION（情報表示）

メニュー操作の基本

キー	機能
FUNCTIONキー	**"FUNCTIONS"** メニュー画面を表示します。**"FUNCTIONS"** メニュー画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
SETUPキー	**"SETUP"** メニュー画面を表示します。**"SETUP"** メニュー画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
►►Iキー	画面に応じて以下の操作を行います。 • メニュー階層を進みます。 • 設定内容を確定します。 • **"FILE/FOLDER"** 画面では、フォルダを開きます。 • **"TIMER"** メニューの **"START/END"** 画面および **"DATE/TIME"** 画面では、設定桁の移動をします。 • リピート画面では、リピート終了点を設定します。
I◄◄キー	画面に応じて以下の操作を行います。 • 前の画面に戻ります。 • リピート画面では、リピート開始点を設定します。

キー	機能
+キー／ーキー	項目の選択、および設定値の変更を行います。
HOMEキー	ホーム画面に戻ります。 ホーム画面表示中にホームを押すと、直前の画面に戻ります。

メニュー操作キー

ディスプレー下に、⏮キー、⏭キー、+およびーキーに対応する機能が表示されます。画面により各キーに割り当てられる機能が変わります。

[メニュー操作キーの表示例]

Back：前の画面に戻ります。

Enter:サブメニューを開く、または設定値を確定します。

Next：カーソルを移動します。

No：「いいえ」と答えるときに使います。

Yes：「はい」と答えるときに使います。

Exec.：選択した操作を実行します。

⬇：+およびーキーを使って設定値を変更します。

ON/OFF：ON/OFFの切り換えをします。

A point：⏮キーでA点を設定します。

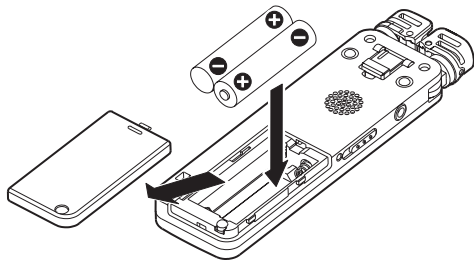
B point：⏭キーでB点を設定します。

電源の準備

電源について

本機は、単4形電池2本、またはUSBバスパワーで電源を供給します。
本機は、単4形アルカリ乾電池、および単4形ニッケル水素電池も使用することができます。

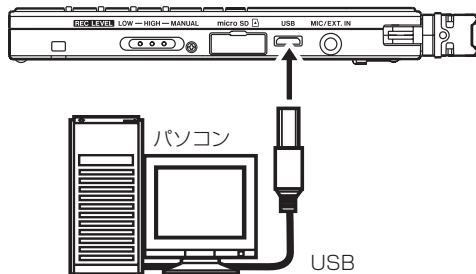
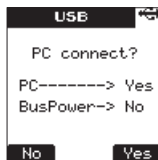
単4形電池で使用する

本機の裏面にある電池ケースふたをスライドして取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単4形電池を2本セットし、電池ケースふたを取り付けます。

単4形電池で使用するとき、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（→ 83ページ「バッテリータイプ設定」）

注 意

- 単4形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単4形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。
- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。

USBバスパワーで駆動する

図のように、パソコンと本機を付属のUSBケーブルで接続します。

電源がオンのときにUSB接続すると、またはUSB接続後に電源をオンにすると、USBバスパワーで駆動するか、パソコンとUSB接続するかを選択する画面が表示されます。

⏮ **"〔No〕"** キーを押すと電源が**USB**端子から供給され、ホーム画面が表示されます。

メモ

電池をセットし、USB接続した場合は、USBから電源が供給されます。(USBバスパワー優先)

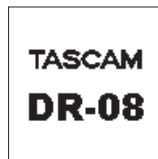
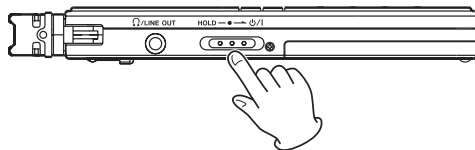
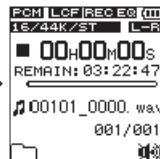
電源を入れる／オフにする

注意

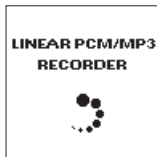
- 本機の電源のオン／オフ操作は、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ操作時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源を入れる

電源がオフのときに、左サイドパネルにある **⏻/I**／**HOLD**スイッチを **⏻/I** の方向にスライドします。**"TASCAM DR-08"**（起動画面）が表示されたら離します。

本機が起動してホーム画面が表示されます。

[起動画面]　　[ホーム画面]

電源をオフにする

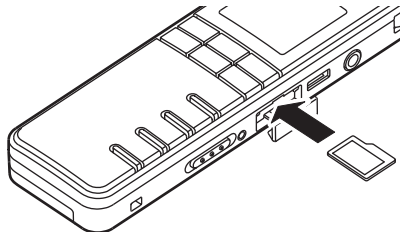
電源オンの時に、本機の左サイドパネルにある ⏻/| ／HOLDスイッチを ⏻/| の方向にスライドします。以下のシャットダウン画面が表示されたら離します。

シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

注 意

電源をオフにするときは、必ず ⏻/| ／HOLDスイッチで行ってください。
電源がオンのときに電池を外したり、USBバスパワーで駆動時にUSBケーブルを抜いたりすると録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

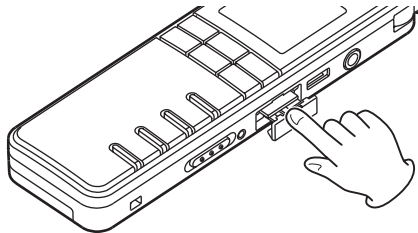
microSDカードを挿入する／取り出す

microSDカードを挿入する

1. 右サイドパネルにあるmicroSDカードスロットカバーをあけます。
2. microSDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。

メ モ

本機をお買い上げ時、microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されています。このmicroSDカードをそのまま使って録音／再生を行う場合は、改めて挿入し直す必要はありません。

microSDカードを取り出す

1. 右サイドパネルにあるmicroSDカードスロットカバーをあけます。
2. microSDカードを軽く押し込むと手前に出てきます。

注意

- パソコンとUSB接続中、本機からmicroSDカードを取り外さないでください。
- 使用できるmicroSDカードは、microSD/microSDHC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイトには、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されています。（**http://www.tascam.jp/**）

microSDカードを使えるようにする

本機でmicroSDカードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。

1. microSDカードが挿入されていることを確認し、本機の左サイドパネルにある **⏻/｜**／**HOLD**スイッチを **⏻/｜**の方向にスライドします。
2. 新しいカード、または本機以外でフォーマットされたカードを挿入したとき、以下のポップアップメッセージが表示されます。

3. **►►I “〔Exec.〕”**キーを押すと、フォーマットを開始します。

注意

フォーマットを行うと、カード上のデータは全て失われます。

4. フォーマットが終了するとホーム画面に戻ります。また、本機ではいつでもフォーマットを行うことができます。

注意

フォーマットは、USBバスパワーで駆動しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

日時を設定する

本機は、本体内の時計をもとに、録音したファイルに日時を記録します。また、タイマー録音も、本体内の時計をもとに動作します。

1. SETUPキーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。
2. ＋キーまたは－キーを使って **"SYSTEM"** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押して、**"SYSTEM"** メニュー画面を表示します。
4. ＋キーまたは－キーを使って **"DATE/TIME"** 項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押して、**"DATE/TIME"** 設定画面を表示します。

6. ►►I **"〔Next〕"** キーを押すと、年→月→日→時→分→秒→年→...の順でカーソル（反転表示）が切り換えますので、＋キーまたは－キーを使って各項目を設定します。

7. 日時が確定したら**REC**キーを押して、本体に記憶させます。
以下のポップアップメッセージが表示されます。

8. ポップアップメッセージが消えたら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

注 意

日時の設定は、電池またはUSBバスパワーの接続がない状態では、数分しか保持しません。電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

内蔵スピーカーで再生する

本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、**"SETUP"**メニュー画面内の **"SPEAKER"** 設定項目をオンにしてください。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。
2. **＋**キーまたは**－**キーを使って **"SPEAKER"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"SPEAKER"** 設定画面を表示します。

4. +キーまたは−キーを使って“ON”に設定します。

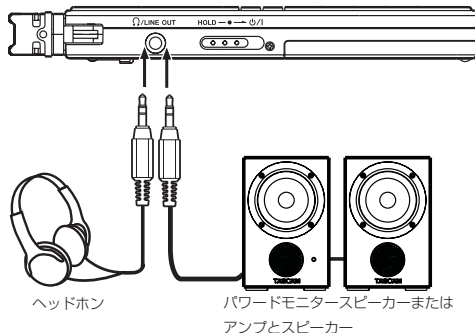
5. ►►I “〔Enter〕” キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、“SPEAKER”設定画面に戻ります。

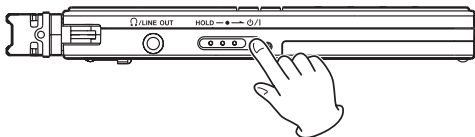
6. 設定が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

録音中や録音待機中、またはヘッドホン／モニターシステムを接続すると、“SPEAKER”設定が“ON”でもスピーカーから音は出力されません。

モニター用機器を接続する

ヘッドホンで聴く場合は、左サイドパネルにある Ω /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。
外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、Ω /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。

誤操作防止のためのホールド機能

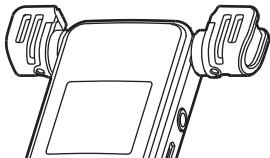
左サイドパネルにある ⏻/ | ／ **HOLD**スイッチを**HOLD**の位置にセットすると誤操作防止のためのホールド機能が働きます。ホールド中は、全てのキー操作を受け付けません。

内蔵ステレオマイクについて

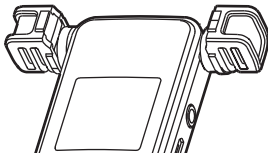
本機のステレオ内蔵マイクは可動式になっており、マイクの角度を変えることができるようになっています。録音する状況に合わせて、広がりのあるステレオ録音（音楽録音など）から、特定の音を狙った録音（インタビューなど）まで、内蔵マイクだけで対応することができます。

特定の音を狙った設定をする（インタビューなど）

マイクを閉じた状態にします。
この設定では、比較的狭い範囲を狙った録音が可能です。

広がりのあるステレオ録音設定をする（音楽録音など）

マイクを左右に開きます。
左右に大きく広がった、ステレオ感あふれる録音が可能です。

周囲の音を録音する設定にする（会議録音など）

マイクを左右に開き、回転させます。
マイクの向きがトップパネル面から見て手前になりますので、卓上において、周囲の音を録音するのに便利です。

内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える

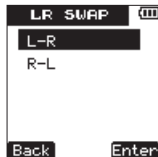
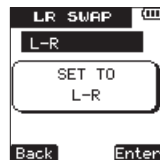
マイクの角度設定によって、左マイク、右マイクの入れ換えを行います。
左右のマイクが開いている時には左のマイクが左チャンネル、右のマイクが右チャンネルの設定。マイクが閉じている時には左のマイクが右チャンネル、右のマイクが左チャンネルの設定にします。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **"SYSTEM"** 項目を選択（反転表示）します。

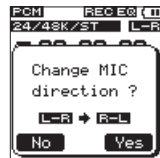
3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"SYSTEM"** メニュー画面を表示します。

4. +キーまたはーキーを使って"**LR SWAP**"項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I "**〔Enter〕**"キーを押して、"**LR SWAP**"設定画面を表示します。

6. +キーまたはーキーを使ってマイクの開閉状況に応じて"**L-R**"もしくは"**R-L**"を選択（反転表示）します。

7. ►►I "**〔Enter〕**"キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示した後、"**LR SWAP**"設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

マイク位置検出について

マイクを開いたり閉じたりしたときに、以下のポップアップメッセージが表示されます。

►►I "**〔Yes〕**"キーを押すと、設定を変更します。
I◄◄ "**〔No〕**"キーを押すと、設定を変更しません。

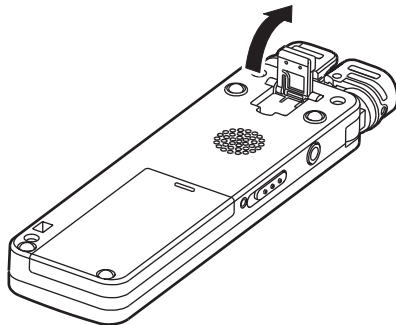
メモ

この画面は、左側のマイクを開閉したときに自動的に表示されます。右側のマイクだけを開いた場合は、表示されません。

注意

- マイクの角度設定を変えてポップアップメッセージが表示されている場合は、►►I "〔Yes〕" キーを押して "L-R" 設定を変更するか、I◄◄ "〔No〕" キーを押して設定を変更しないか、マイクの角度をもとに戻してポップアップメッセージを閉じるまでは、録音を開始することができません。
- 録音中もしくはプリレック中には、マイクの角度設定を変えても、このポップアップ画面はでません。必要に応じて "SYSTEM" メニュー画面の "LR SWAP" 項目で切り換えを行ってください。（ → 37ページ「内蔵ステレオマイクの左右設定を切り換える」）

スタンドについて

本機のボトムパネルには、本機の上部を少し持ち上げて設置することができる折りたたみ式のスタンドが付いています。
本機を卓上などに設置するときは、このスタンドを使用することにより、接地面を少なくし、振動ノイズを低減できるため、よりクリアな録音が可能となります。

第4章　録音

本機は、内蔵マイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（ポータブルCDプレーヤーのヘッドホン端子など）からの信号を録音することができます。

録音設定をする

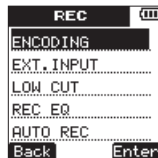
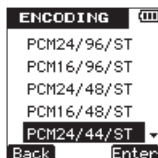
録音品質を設定する

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を設定します。
ステレオ／モノラルの選択に加え、音質重視、録音時間重視など、目的に合わせて録音オーディオのファイル形式を**"PCM"**もしくは**"MP3"**から選択してください。

メモ

- PCMの方がMP3よりも高音質で録音できます。
- MP3の方がPCMよりも長時間録音できます。
- MP3の場合は、ビットレート値が大きいほど高音質録音ができます。
- 録音時間については、「録音時間について」（→ 57ページ）をご参照ください。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"**メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って**"REC"**項目を選択（反転表示）します。

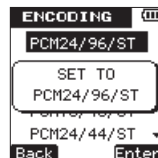
3. **►►I "〔Enter〕"**キーを押して、**"REC"**メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って**"ENCODING"**項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、“ENCODING” 設定画面を表示します。

6. ＋キーまたはーキーを使って、録音品質（エンコード形式）を以下の中から選択（反転表示）します。初期値は、**“PCM16/44/ST”** です。

PCM 設定時

表示	形式（量子化ビット数）／サンプリング周波数／チャンネル数
PCM24/96/ST	PCM24bit、96kHz、ステレオ
PCM16/96/ST	PCM16bit、96kHz、ステレオ
PCM24/48/ST	PCM24bit、48kHz、ステレオ
PCM16/48/ST	PCM16bit、48kHz、ステレオ
PCM24/44/ST	PCM24bit、44.1kHz、ステレオ
PCM16/44/ST	PCM16bit、44.1kHz、ステレオ
PCM16/44/MO	PCM16bit、44.1kHz、モノラル

MP3 設定時

表示	形式／ビットレート／チャンネル数
MP3/320/ST	MP3、320kbps、ステレオ
MP3/192/ST	MP3、192kbps、ステレオ
MP3/128/ST	MP3、128kbps、ステレオ
MP3/64/ST	MP3、64kbps、ステレオ
MP3/160/MO	MP3、160kbps、モノラル
MP3/96/MO	MP3、96kbps、モノラル
MP3/64/MO	MP3、64kbps、モノラル
MP3/32/MO	MP3、32kbps、モノラル

7. ►►I “〔Enter〕” キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**“ENCODING”** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

内蔵ステレオマイクを入力ソースにする

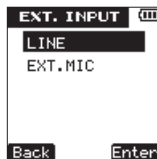
本機の入力ソースは、内蔵ステレオマイク、外部マイク入力、外部機器入力のいずれかになります。本機の右サイドパネルにある**MIC/EXT.IN**端子に何も接続されていない場合は、内蔵マイクが入力ソースになります。

外部入力ソースの種類を設定する

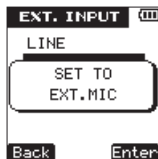
本機の右サイドパネルにある**MIC/EXT.IN**端子には、プラグインパワー対応外部マイク、または外部オーディオ機器（ポータブルCDプレーヤーのヘッドホン端子など）を接続すると、外部入力が入力ソースになります。接続する機器に合わせて、設定を行います。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"**メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って**"REC"**項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"**キーを押して、**"REC"**メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って**"EXT.INPUT"**項目を選択（反転表示）します。

5. **►►I "〔Enter〕"**キーを押して、**"EXT.INPUT"**設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って、以下の中から選択（反転表示）します。初期値は、**"LINE"** です。

表示	入力ソース
LINE	外部オーディオ機器（ポータブルCDプレーヤーのヘッドホン端子などを接続した場合）
EXT. MIC	プラグインパワー対応外部マイクを接続した場合

7. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**"EXT. INPUT"** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

出力レベルが固定のライン出力を接続した場合は、音量が大きい音源等ではレベルオーバとなり、調節できない場合があります。その場合には、レベル調節可能なヘッドホン端子等と接続してください。
"EXT.MIC" を選択した場合は、プラグインパワーが常時オンになります。

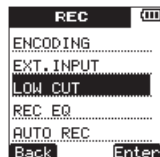
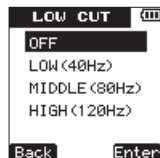
録音時の低域ノイズカット設定をする

録音時に低域成分を低減し、よりクリアな音声録音を行うローカットフィルターを搭載しています。空調機の音や屋外での録音などで風の音が入る場合は、ローカットフィルターを使うことで不要なノイズ成分を低減することができます。録音する条件に合わせて、3段階あるフィルターの中から選択します。

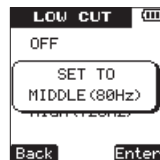
1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。

2. ＋キーまたは－キーを使って **"REC"** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押して、**"REC"** メニュー画面を表示します。

4. ＋キーまたは－キーを使って“LOW CUT”項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I“〔Enter〕”キーを押して、“LOW CUT”設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って、以下の中から選択（反転表示）します。初期値は、“LOW（40Hz)”です。

表示	ローカットフィルター効果
OFF	ローカットフィルターオフ
LOW（40Hz）	40Hz以下の信号を減衰
MIDDLE（80Hz）	80Hz以下の信号を減衰
HIGH（120Hz）	120Hz以下の信号を減衰

7. ►►I“〔Enter〕”キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、“LOW CUT”設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

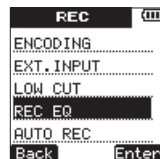
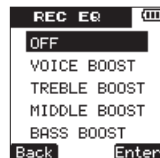
録音時の音質補正をする

録音する状況や目的に合わせて、録音音質の補正を行います。
声を強調した録音や、低域、中域、高域をそれぞれ強調するモードがあります。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。

2. **+**キーまたは**ー**キーを使って **"REC"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **▶▶I "〔Enter〕"** キーを押して、**"REC"** メニュー画面を表示します。

4. **+**キーまたは**ー**キーを使って **"REC EQ"** 項目を選択（反転表示）します。

5. **▶▶I "〔Enter〕"** キーを押して、**"REC EQ"** 設定画面を表示します。

6. **+**キーまたは**ー**キーを使って、以下の中から選択（反転表示）します。初期値は、**"OFF"** です。

表示	音質補正効果
OFF	音質補正オフ
VOICE BOOST	声強調
TREBLE BOOST	高域音強調
MIDDLE BOOST	中域音強調
BASS BOOST	低域音強調

7. ►►I **“〔Enter〕”**キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**“REC EQ”**設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

録音を自動で開始／一時停止させる

オートレック（AUTO REC）機能をオンにすると、入力音のレベルに応じて、録音の開始／一時停止を自動で行うことができます。

1. **SETUP**キーを押して、**“SETUP”**メニュー画面を表示します。

2. **+**キーまたは**−**キーを使って**“REC”**項目を選択（反転表示）します。

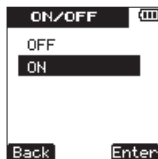
3. ►►I **“〔Enter〕”**キーを押して、**“REC”**メニュー画面を表示します。

4. **+**キーまたは**−**キーを使って**“AUTO REC”**項目を選択（反転表示）します。

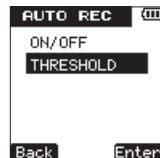
5. ►►I **“〔Enter〕”**キーを押して、**“AUTO REC”**メニュー画面を表示します。

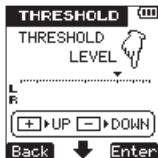
6. +キーまたは−キーを使って **"ON/OFF"** 項目を選択（反転表示）します。

7. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押して、**"ON/OFF"** 設定画面を表示します。

8. +キーまたは−キーを使って **"ON"** を選択（反転表示）します。初期値は、**"OFF"** です。

9. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**"AUTO REC"** の **"ON/OFF"** 画面に戻ります。

10. I◄◄ **"〔Back〕"** キーを押して、**"AUTO REC"** メニュー画面に戻ります。

11. +キーまたは−キーを使って、**"THRESHOLD"** 項目を選択（反転表示）します。

12. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押して、**"THRESHOLD"** 設定画面を表示します。

13. 録音開始／一時停止をするレベル（**"THRESHOLD LEVEL"**）を設定します。画面のレベルメーターの上に **"▼"** が表示されますので、+キーまたは−キーを使って−6dB、−12dB（初期値）、−24dB、−36dBの中から選択します。

[−12dB設定時の表示]

14. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**"THRESHOLD"** 設定画面に戻ります。

15. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

ファイルの保存先を選択する

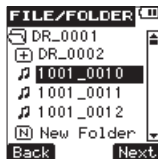
録音を行う前に、録音するファイルの保存するフォルダを選択します。
特に指定しない場合は、**"SOUND"** フォルダの下にファイルが作成されます。

1. **FUNCTION**キーを押して、**"FUNCTIONS"** メニュー画面を表示します。

2. +キーまたは−キーを使って **"FILE/FOLDER"** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押して、**"FILE/FOLDER"** 画面を表示します。

4. +キーまたは−キーを使って録音ファイルを保存したいフォルダを選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Next〕” キーを押して、選択（反転表示）したフォルダを開きます。これで録音するファイルの保存先が設定されました。

6. HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

保存先として **“PLAYLIST”** を選択すると、プレイリストで選択されているファイルのあるフォルダが保存先となります。

新しいフォルダを作成する

本機では、ルートフォルダである **“SOUND”** フォルダの下に、最大2階層までフォルダを作成することができます。録音するシーンや、楽曲のカテゴリー分けをするのに便利です。

1. FUNCTIONキーを押して、**“FUNCTIONS”** メニュー画面を表示します。

2. +キーまたは−キーを使って **“FILE/FOLDER”** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、**“FILE/FOLDER”** 画面を表示します。

4. ＋キーまたは－キーを使って“New Folder”項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I“〔Next〕”キーを押すと、以下のポップアップメッセージを表示します。

6. ►►I“〔Yes〕”キーを押すと新しいフォルダを作成し、そのフォルダを開きます。作成したフォルダが録音するファイルを保存するフォルダになります。

7. フォルダ作成が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

設置または接続する

内蔵マイクで録音する

マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

外部マイクで録音する

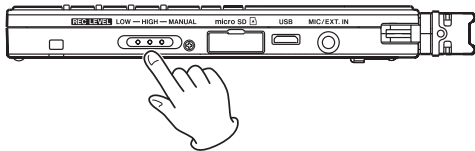
外部マイクを本機の右サイドパネルにある**MIC/EXT. IN**端子に接続します。
マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。
“EXT.INPUT”設定画面で、外部入力を**“EXT.MIC”**に設定します。（ → 42ページ「外部入力ソースの種類を設定する」）

外部機器から録音する

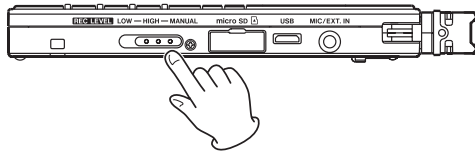
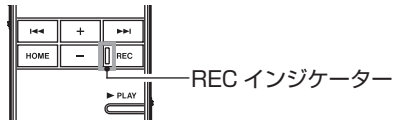
ステレオミニプラグケーブルを使って、外部オーディオ機器の出力を本機の右サイドパネルにある**MIC/EXT.IN**端子に接続します。
“EXT.INPUT”設定画面で、外部入力を**“LINE”**に設定します。（ → 42ページ「外部入力ソースの種類を設定する」）

入力レベルを調節する

オートゲインコントロール機能を使う

1. 右サイドパネルにある**REC LEVEL**スイッチを**LOW**または**HIGH**に設定します。

入力レベルに応じて本機の入力ゲインが変化し、録音レベルを自動的に調節します。会議録音など、人の会話を録音するのに向いています。
録音する音の音量が大きい場合は、**LOW**に設定します。録音する音が遠く、聞こえてくる音の音量が小さかったり、音源そのものの音量が小さい場合は、**HIGH**に設定します。
REC LEVELスイッチを**LOW**または**HIGH**に設定した場合は、本機が自動で最適な録音レベルを調節するため、**I◀◀**キーまたは**▶▶I**キーを使って、手動で録音レベルを調節する必要はありません。

手動で録音レベルを設定する

1. 右サイドパネルにある**REC LEVEL**スイッチを**MANUAL**に設定します。

2. **REC**キーを押して、録音待機状態にします。**REC**インジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。

3. ⏮キーまたは⏭キーを使って、入力レベルを調節します。録音待機時は、入力レベルがディスプレー下にプルアップ表示されます。

メモ

- 録音待機を解除するには、■ **STOP**キーを押します。
- 録音待機時や録音中は、スピーカーから音は出ません。モニター音を聞きながらレベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを本機の左サイドパネルにある Ω / **LINE OUT**端子に接続してください。モニター音は、**+**キーまたは**−**キーで調節できます。録音される音には、影響ありません。

ヒント

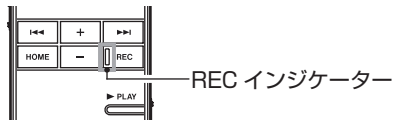
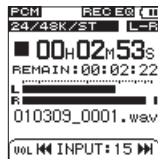
+キーまたは**−**キーの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向き距離や向きによって、音質が変わります。

録音する

以下の操作手順は、すでに入力が選択され、レベル調節を終え、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

メモ

REC LEVELスイッチが**LOW**または**HIGH**の位置に設定されている場合は、**REC**キーを押すだけで録音が開始され録音待機状態にはなりません。録音の設定は、ホーム画面上部の表示で確認する事ができます。

1. **REC**キーを押して、録音待機にします。
   RECインジケーターが点滅します。

2. **REC**キーを押すと、録音が始まります。

録音が始まると**REC**インジケーターが点灯し、ディスプレーには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. **■ STOP**キーを押すと、録音が終了します。

トラックインクリメント

本機の最大録音ファイルサイズは、2GBです。
録音中にファイルサイズが2GBになると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を継続します。

録音中に手動でトラックインクリメントする

録音中にいつでも簡単に手動でファイルを更新し、録音を継続することができます。

1. 録音中に**REC**キーを押します。

注意

- フォルダとファイルの総数が999個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 録音時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名が既に存在する場合は、更に数字が繰り上がります。

メモ

- 新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。
- ファイル形式によっては、同じファイルサイズにおける録音時間が異なります。また、録音時間が24時間以上の場合は、23時間59分59秒として表示されます。

タイマー録音する

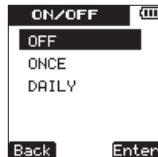
設定した時刻に録音を開始／終了することができます。録音開始／終了時刻に加えて、1回だけ行う、または毎日同時刻に行う、の設定ができます。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。

2. **+**キーまたは**−**キーを使って **"TIMER"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"TIMER"** 設定メニュー画面を表示します。

4. **+**キーまたは**−**キーを使って **"ON/OFF"** 項目を選択（反転表示）します。

5. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"ON/OFF"** 設定画面を表示します。

6. **+**キーまたは**−**キーを使ってタイマー動作を以下の中から選択（反転表示）します。

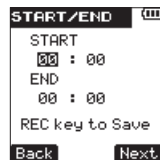
表示	内容
OFF	タイマーオフ
ONCE	1回のみ
DAILY	毎日

7. ►►I “〔Enter〕”キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**“TIMER”**設定メニューの**“ON/OFF”**設定画面に戻ります。

8. I◄◄ “〔Back〕”キーを押して、**“TIMER”**設定メニュー画面に戻ります。

9. ＋キーまたは－キーを使って**“START/END”**項目を選択（反転表示）します。

10. ►►I “〔Enter〕”キーを押して、タイマーの開始および終了時刻設定を行う**“START/END”**設定画面を表示します。

11. ►►I “〔Next〕”キーで設定する時刻の桁を選択（反転表示）し、＋キーまたは－キーを使ってタイマーの開始および終了時刻を設定します。

12. **REC**キーを押すと設定値を確定し、以下のポップアップメッセージが表示されます。

13. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

注 意

"DATE/TIME" 設定画面で設定された時刻をもとにタイマー録音を開始／終了します。あらかじめ正しい時刻を **"DATE/TIME"** 設定画面で設定しておいてください。（ → 33ページ「日時を設定する」）

メ モ

タイマー録音中は、録音が不用意に止まることの無いように、本機の左サイドパネルにある ⏻/❙／HOLD スイッチの位置にかかわらず、パネル操作を受け付けなくします。タイマー録音中にパネル操作を行った場合は、以下のポップアップメッセージが表示されます。

他の操作を行いたい場合は、⏻/❙／HOLDスイッチをいったん**HOLD**の位置にし、そのあと**HOLD**を解除してください。

録音開始の少し前から録音する（プリレック）

録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前からの信号を録音することができます。

停止中に**REC**キーを長押しすることによって、プリレック待機状態になります。再度**REC**キーを押すと、2秒前にさかのぼって録音を開始します。

ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく録音できます。

メ モ

録音待機状態になってから2秒以内に録音を開始した場合は、録音待機状態にした時点からの録音となります。

録音時間について

各フォーマットにおけるmicroSD ／ microSDHCカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM24/96/ST	36分	1時間02分	2時間04分	4時間08分
PCM16/96/ST	46分	1時間33分	3時間06分	6時間12分
PCM24/48/ST	1時間02分	2時間04分	4時間08分	8時間16分
PCM16/48/ST	1時間33分	3時間06分	6時間12分	12時間24分
PCM24/44/ST	1時間07分	2時間15分	4時間30分	9時間00分
PCM16/44/ST	1時間41分	3時間22分	6時間44分	13時間28分
PCM16/44/MO	3時間22分	6時間44分	13時間28分	26時間56分
MP3/320/ST	7時間27分	14時間54分	29時間48分	59時間36分
MP3/192/ST	12時間25分	24時間50分	49時間40分	99時間20分
MP3/128/ST	18時間36分	37時間16分	74時間32分	149時間04分
MP3/64/ST	37時間16分	72時間32分	149時間04分	298時間08分
MP3/160/MO	14時間54分	29時間48分	59時間36分	119時間12分
MP3/96/MO	24時間50分	49時間40分	99時間20分	198時間40分
MP3/64/MO	74時間32分	145時間04分	298時間08分	596時間16分
MP3/32/MO	149時間04分	290時間08分	596時間16分	1192時間32分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のmicroSD ／ microSDHCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD ／ microSDHCカードに可能な録音合計時間です。

第5章　ファイルやフォルダの操作（FILE/FOLDER 画面）

“FILE/FOLDER” 画面では、microSDカード上の **“SOUND”** フォルダ（オーディオファイルの収納フォルダ）の内容を見ることができます。また、この画面で選択（反転表示）したオーディオファイルの削除、フォルダの作成やプレイリストへの登録などができます。（→69ページ「プレイリスト」）

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはmicroSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからも **“SOUND”** フォルダ内のフォルダ構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

“FILE/FOLDER” 画面を表示するには、**FUNCTION** キーを押して、**“FUNCTIONS”** メニュー画面を表示し、**+**キーまたは**−**キーを使って **“FILE/FOLDER”** 項目を選択（反転表示）し、►►I **“〔Next〕”** キーを押します。

この画面は、**“FILE/FOLDER”** 画面を表示する前に、ホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダの内容が表示されます。

画面内のナビゲーション

“FILE/FOLDER” 画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダは、第2階層まで作成できます。

- **+**キーまたは**−**キーを使ってファイルやフォルダを選択（反転表示）します。
- フォルダが反転中に ►►I **“〔Next〕”** キーを押すと、フォルダの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダを選択中（反転表示中）に I◄◄ **“〔Back〕”** キーを押すと、現在開いているフォルダが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- ファイルを選択中（反転表示中）に ►►I **“〔Next〕”** キーを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
- **“New Folder”** を選択中（反転表示中）に ►►I **“〔Next〕”** キーを押すと、新規フォルダを作成するかどうかのポップアップメッセージが表示されます。

画面内のアイコン表示

以下に **“FILE/FOLDER”** 画面内のアイコン表示内容を説明します。

プレイリスト（）

プレイリストは、“ ” アイコンの後ろに **“PLAY LIST”** と表示されます。（ → 69ページ「プレイリスト」）

SOUNDフォルダ（）

ルート（ROOT）階層表示中の **“FILE/FOLDER”** 画面では、最上段に **“SOUND”** フォルダが表示されます。

新しいフォルダ（）

新しいフォルダは、“ ” アイコンの後ろに **“New Folder”** と表示されます。（ → 60ページ「新しいフォルダを作る」）

オーディオファイル（ ）

音楽ファイルは、“ ” アイコンの後ろにファイル名が表示されます。

フォルダ（）

内部にファイル、フォルダが存在するフォルダです。

フォルダ（）

内部にファイル、フォルダが存在しないフォルダです。

表示中のフォルダ（）

現在、このフォルダの内容を画面表示しています。

ファイル操作

ファイルをプレイリストに追加したり、カード上から削除します。

1. **“FILE/FOLDER”** 画面内のファイルを選択（反転表示）し、►►I **“〔Next〕”** キーを押します。
   以下のポップアップメニューが表示されます。

2. ＋キーまたは－キーを使って希望の項目を選択（反転表示）し、►►I **"〔Exec.〕"** キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

ADD TO LIST

プレイリストに選択したファイルを登録します。（ → 69ページ「プレイリスト」）

DELETE

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

►►I **"〔Yes〕"** キーを押すと、選択したファイルが削除されます。

I◄◄ **"〔No〕"** キーを押すと、ファイル削除操作をキャンセルします。

メモ

書き込み禁止ファイルや本機で認識されていないファイルは、削除されません。

フォルダ操作

録音／再生するフォルダを選択したり、新しいフォルダを作ります。

録音／再生するフォルダを選択する

"FILE/FOLDER" 画面内の希望のフォルダを選択（反転表示）し、►►I **"〔Next〕"** キーを押します。選択したフォルダが開き、フォルダ内のファイルリストが表示されます。この操作で、録音／再生するフォルダが選択されます。選択が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

新しいフォルダを作る

"FILE/FOLDER" 画面内で **"New Folder"** を選択（反転表示）し、►►I **"〔Next〕"** キーを押します。新たなフォルダを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。

►►I **“〔Yes〕”**キーを押すと、フォルダが作成されフォルダを開きます。

I◄◄ **“〔No〕”**キーを押すと、フォルダ作成が中止され、**“FILE/FOLDER”**画面に戻ります。

新しいフォルダを作成した場合は、作成したフォルダが、録音／再生するフォルダになります。

新しいフォルダの作成が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

- フォルダは、第2階層まで作成できます。
- 録音するフォルダとして **“PLAYLIST”** を選択すると、プレイリストで選択されているファイルのあるフォルダが保存先となります。

ファイルを分割する

録音したファイルを任意の位置で2つのファイルに分割することができます。

1. I◄◄キー、►►Iキーまたは**“FILE/FOLDER”**画面で、分割したいファイルを選択（反転表示）します。
2. 再生または早送りをし、分割したい位置あたりで停止します。
3. **FUNCTION**キーを押して、**“FUNCTIONS”**メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って**“SPLIT FILE”**項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I **“〔Enter〕”** キーを押して、**“SPLIT FILE”** 画面を表示します。

6. **+**キーまたは**ー**キーを使って分割したいポイントを調節します。再生位置を表示するバー表示の下に **“▲”** マークが表示されている位置が分割ポイントになります。

7. 分割する位置を決定したら、►►I **“〔Exec.〕”** キーを押して、以下のポップアップメッセージを表示します。

8. ►►I **“〔Yes〕”** キーを押すとファイルの分割が実行され、ホーム画面に戻ります。

メモ

“SPLIT FILE” 画面表示中に **►PLAY**キーを押し、再生しながら位置を決めることもできます。
分割すると、ファイル名の末尾に **“_a”** または **“_b”** が付加されたファイルが作成されます。

（例）
分割前のファイル名
　091225_0000.wav
分割後のファイル名
　091225_0000_a.wav（分割点より前の部分）
　091225_0000_b.wav（分割点より後の部分）

分割後は、xxxxx_a.wavファイルが選択された状態になります。

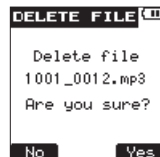
注意

- MP3のファイルは、分割できません。
- microSDカードの容量が少ない場合は、分割できない場合があります。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。

ファイルを削除する

不要なファイルを削除します。

1. ⏮キー、⏭キー、または **"FILE/FOLDER"** 画面で、削除したいファイルを選択（反転表示）します。
2. **FUNCTION**キーを押して、**"FUNCTIONS"** メニュー画面を表示します。
3. **+**キーまたは**−**キーを使って **"DELETE FILE"** 項目を選択（反転表示）します。

4. ⏭ **"〔Enter〕"** キーを押して、**"DELETE FILE"** 画面を表示します。

5. ⏭ **"〔Yes〕"** キーを押すとファイルの削除が実行され、ホーム画面に戻ります。

メモ

ファイルの属性が書き込み禁止になっていると削除できません。変更したい場合は、パソコンに接続して属性を変更してください。

再生する

ホーム画面で、停止中に ►PLAYキーを押すと、再生を始めます。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。（ → 66ページ「再生範囲の選択をする」）
- "FILE/FOLDER" 画面でファイル名を選択（反転表示）して再生させることもできます。

停止する

ホーム画面で、再生中に ■ STOPキーを押すと、その位置で再生を停止します。

早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で、停止中または再生中に|◄◄キーまたは►►|キーを押し続けると早戻し／早送りサーチ再生を行います。

少しだけ戻す（ジャンプバック）

再生中に ►PLAYキーを押すことで、少し戻って再生をすることができます。

戻る量は、以下の方法で設定します。

1. SETUPキーを押して、"SETUP" メニュー画面を表示します。
2. +キーまたは−キーを使って "PLAY" 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►| "〔Enter〕" キーを押して、"PLAY" メニュー画面を表示します。
4. +キーまたは−キーを使って "JUMP BACK" 項目を選択（反転表示）します。

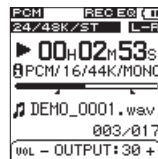
5. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、“JUMP BACK” 設定画面を表示します。

6. +キーまたは−キーを使って戻る時間を選択（反転表示）します。選択肢は “OFF”、“1 SEC.” 〜 “10 SEC.”（1秒単位）、“20 SEC.”、および “30 SEC.” です。（初期値：“3 SEC.”）

7. ►►I “〔Enter〕” キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、“JUMP BACK” 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

再生の音量を調節する

停止中、一時停止中、再生中に、+キーまたは−キーを押し、接続しているヘッドホンやオーディオモニターシステムへの出力音量を調節します。このとき、出力レベルがディスプレー下にプルアップ表示されます。

再生範囲の選択をする

"PLAY" メニュー項目の **"MODE"** 設定で再生範囲の選択を設定することができます。
再生範囲の最後のファイルを再生後は、範囲内の先頭から再生を繰り返します。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **"PLAY"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"PLAY"** メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って **"MODE"** 項目を選択（反転表示）します。

5. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"MODE"** 設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って以下の中から再生範囲を選択（反転表示）します。

   ALL FILES：
   microSDカード上の **"SOUND"** フォルダ内の全ファイルを再生します。

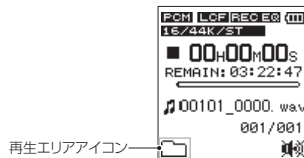
   FOLDER（初期値）**：**
   現在選ばれているファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生します。

   PLAYLIST：
   プレイリストに登録されているファイルを再生します。（ → 69ページ「プレイリスト」）

7. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**"MODE"** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

メモ

再生範囲の現在の設定が、ホーム画面左下部にアイコン表示されます。

：再生エリアが **"全て"** の設定

：再生エリアが **"フォルダ"** の設定

：再生エリアが **"プレイリスト"** の設定

ファイル／フォルダ画面を使って再生範囲を設定する

現在の再生エリアにかかわらず、**"FILE/FOLDER"** 画面でフォルダを選択（反転表示）すると、選択（反転表示）したフォルダが再生範囲になります。

1. **FUNCTION**キーを押して、**"FUNCTIONS"** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**ー**キーを使って **"FILE/FOLDER"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"FILE/FOLDER"** 画面を表示します。
4. **+**キーまたは**ー**キーを使って再生範囲にしたいフォルダを選択（反転表示）します。

メモ

"FiLE/FOLDER" 画面での操作については、「第5章ファイルやフォルダの操作（FILE/FOLDER画面）」（58ページ）をご覧ください。

5. **►►I "〔Next〕"** キーを押すと、選択（反転表示）したフォルダが開き、フォルダ内のファイルリストが表示されます。
   この操作で、選択（反転表示）したフォルダが再生範囲に設定されます。
6. **HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

プレイリスト

再生するファイルのリスト（プレイリスト）を作成することができます。
"SETUP" メニュー画面内の **"PLAY"** 項目の **"MODE"** 設定画面で **"PLAYLIST"** を選択すると、プレイリスト上の曲を再生することができます。

プレイリストに登録する

1. **FUNCTION**キーを押して、**"FUNCTIONS"** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **"FILE/FOLDER"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"FILE/FOLDER"** 画面を表示します。

メモ

"FILE/FOLDER" 画面での操作については、「第5章 ファイルやフォルダの操作（FILE/FOLDER画面）」（58ページ）をご覧ください。

4. **+**キーまたは**−**キーを使ってプレイリストに登録したいファイルを選択（反転表示）します。

5. **►►I "〔Next〕"** キーを押して、以下のポップアップメニューを表示します。

6. **+**キーまたは**−**キーを使って **"ADD TO LIST"** を選択（反転表示）します。

7. ►►I “〔Exec.〕”キーを押します。
選択（反転表示）した曲がプレイリストに登録され、ポップアップメニューが閉じます。

8. 必要に応じて上記手順**4.**～**7.**を繰り返します。リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

9. 登録が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

プレイリストを編集する

“PLAYLIST”画面には、作成したプレイリストが表示されます。また、この画面を使って、プレイリストの編集を行うことができます。

1. **FUNCTION**キーを押して、**“FUNCTIONS”**メニュー画面を表示します。

2. **+**キーまたは**−**キーを使って**“FILE/FOLDER”**項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、**“FILE/FOLDER”**画面を表示します。

メモ

“FILE/FOLDER”画面での操作については、「第5章 ファイルやフォルダの操作（FILE/FOLDER画面）」（58ページ）をご覧ください。

4. **+**キーまたは**−**キーを使って**“PLAYLIST”**項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Next〕”キーを押して、**“PLAYLIST”**画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って編集したいファイルを選択（反転表示）します。

7. ►►I **“〔Next〕”**キーを押して、以下のポップアップメニューを表示します。

8. ＋キーまたは－キーを使って希望の項目を選択（反転表示）します。

9. ►►I **“〔Exec.〕”**キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

DELETE：

曲をプレイリスト登録から削除します。プレイリストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。

MOVE：

選択（反転表示）している曲（ファイル）の曲順を変更します。ファイル名だけでなく、曲番数字も反転表示になります。

- ＋キーまたは－キーを使って、プレイリスト内で選択（反転表示）ファイルの曲順を移動します。下図は、4曲目のファイルを3曲目に移動した例です。

- 確定したら、►►I **“〔Next〕”**キーを押します。**“PLAYLIST”** 画面に戻ります。曲順の変更を取りやめたい場合は、I◄◄ **“〔Back〕”**キーを押します。前の画面に戻ります。

DELETE ALL：
プレイリスト上の全てのファイル登録を削除します。プレイリストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。

- プレイリスト上の全てのファイルの登録を削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

- ►►I “〔Yes〕” キーを押すと、プレイリスト上の全てのファイルがプレイリストから登録が削除され、**“PLAYLIST”** 画面に戻ります。削除を取りやめたい場合は、I◄◄ “〔No〕” キーを押します。前の画面に戻ります。

10. 編集が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

再生するファイルを選択する(スキップ)

ホーム画面で、I◄◄ キーまたは ►►I キーを押して、再生したいファイルを選択（反転表示）します。
ファイルの途中でI◄◄ キーを押すと、ファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭でI◄◄ キーを押すと、1つ前のファイルの先頭にスキップします。
ファイルの先頭、または途中で ►►I キーを押すと、次のファイルへスキップします。

メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（曲名など）がディスプレー上に表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレーに動作アイコン **“■”** を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン **“II”** を表示します。

区間リピート再生する

ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）することができます。

1. **FUNCTION**キーを押して、**“FUNCTIONS”**メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って**“REPEAT”**項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I “〔Enter〕”**キーを押して、**“REPEAT”**設定画面を表示します。

初期状態では、曲の始めにリピート開始点、曲の終わりにリピート終了点が設定されています。1曲全体をリピート再生したい場合は、この状態で**+ “〔ON/OFF〕”**キーを押します。

4. 再生中（または一時停止中）、リピート再生を開始したい点で**I◄◄ “〔A point〕”**キーを押します。**I◄◄ “〔A point〕”**キーを押した位置がA点（始点）として設定されます。
5. リピート再生を終了したい点で**►►I “〔B point〕”**キーを押します。**►►I “〔B point〕”**キーを押した位置がB点（終点）として設定されます。
ホーム画面の再生位置表示バーの下部には、A点、B点それぞれの設定に該当する位置に**“◢”**アイコンまたは**“◣”**アイコンが点灯します。

6. ＋“〔ON/OFF〕”キーを押すと、リピート再生を開始します。このとき、画面の左下にA-Bリピートアイコンが表示されます。

A-Bリピートを解除するには、再度＋“〔ON/OFF〕”キーを押します。

A-Bリピートアイコンが消灯します。

A-Bリピート再生中は、ホーム画面の左下にもA-Bリピートアイコンが表示されます。

メモ

- ⏮キーまたは⏭キーを長押しすると、サーチします。
- 2つ以上のファイルを跨いでのA点、点の設定はできません。
- 異なるファイルを選択した場合は、A点、B点の設定は破棄されます。
- MP3ファイルがVBR形式の場合は、正確なA点、B点の指定ができない場合があります。

ヒント

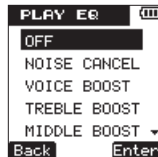
ファイルの先頭をA点、最後をB点として登録することで1つのファイル全域を繰り返し再生することができます。A、Bを未登録時は初期値としてA点にファイルの先頭時間が、B点にファイルの最終時間がセットされています。その状態でリピートをオンした場合はファイル全体リピートを開始します。

再生時の音質補正をする

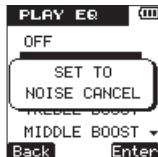
本機は、再生時に声の成分を強調したり、ノイズを減衰させたり、高音成分、または低音成分を減衰する音質補正フィルターを搭載しています。録音した素材と、再生する環境に合わせてお使いください。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **"PLAY"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►ı "〔Enter〕"** キーを押して、**"PLAY"** メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って **"PLAY EQ"** 項目を選択（反転表示）します。

5. **►►ı "〔Enter〕"** キーを押して、**"PLAY EQ"** 設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って、以下の中から再生環境に最適な音質補正フィルターを選択(反転表示)します。初期値は、**"OFF"** です。

表示	内容
OFF	フィルター機能オフ
NOISE CANCEL	ノイズを減衰します。
VOICE BOOST	声の成分を強調します。
TREBBLE BOOST	高域成分を強調します。
MIDDLE BOOST	中域成分を強調します。
BASS BOOST	低域成分を強調します。
LOW CUT	低音成分を減衰します。
HIGH CUT	高音成分を減衰します。

7. ►►I **"〔Enter〕"** キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**"PLAY EQ"** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

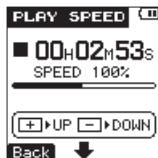
再生スピードを変える

本機の再生スピードコントロール機能を使って、音程を変えずに再生スピードを半分の速度から倍の速度まで変えることができます。

注意

再生スピードコントロール機能は、サンプリング周波数が96kHzで録音されたファイルには使用できません。

1. **FUNCTION**キーを押して、**"FUNCTIONS"** メニュー画面を表示します。
2. ＋キーまたは－キーを使って **"PLAY SPEED"** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、“PLAY SPEED” 設定画面を表示します。

4. ＋キーを押すと再生スピードが速くなり、－キーを押すと再生スピードが遅くなります。“50%”～“200%”（“10%” 単位）で設定することができます。

5. ►►I “〔ON/OFF〕” キーを押すと、再生スピード機能をオンまたはオフにします。再生スピード機能がオンのときは、“U P ▲” または “DOWN ▼” アイコンが点灯します。

6. 設定が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

7. ►PLAYキーを押すと、設定された再生スピードで再生を行います。再生スピードをもとに戻したい場合は、上記手順4.で “100%” に設定するか、手順5.でこの機能をオフに設定してください。

メモ

再生スピード機能がオンで、設定が “100%” 以外のときは、ホーム画面に “U P ▲” もしくは “DOWN ▼” アイコンが表示されます。

[ホーム画面 “DOWN ▼” アイコン表示時]

第 7 章　パソコンと接続する

パソコンとUSB接続する

本機をパソコンと付属のMicroUSBケーブルで接続することで、本機のmicroSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。
本機で取り扱うことができる音声ファイル形式は、以下の通りです。

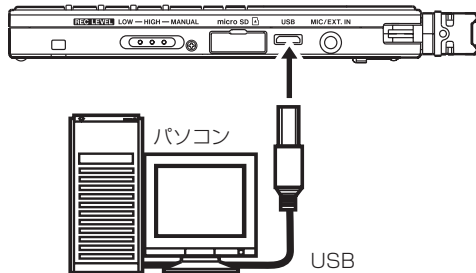
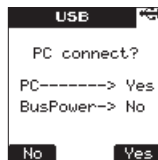
MP3：32k ～ 320kbps、44.1kHz

WAV：44.1/48/96kHz、16/24ビット

メモ

本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からmicroSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

注意

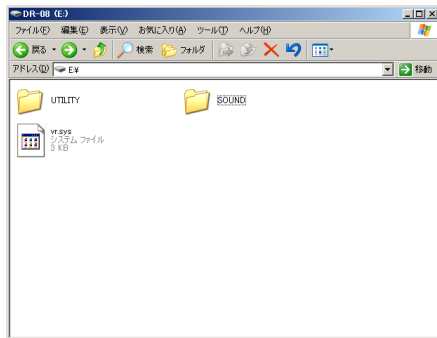
- USB接続中は、本機の操作はできません。
- パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。

接続するとUSBバスパワー駆動するかパソコンとUSB接続するかを選択する画面が表示されます。

►►I **“〔Yes〕”** キーを押して、本機のディスプレーに **“USB connected”** を表示します。
本機にmicroSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

microSDカードが正しく挿入されていない状態でUSB接続を行うと、以下のポップアップメッセージが表示されます。

パソコンのディスプレー上には、本機が《DR-08》というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレー上の《DR-08》ドライブをクリックすると、《SOUND》フォルダと《UTILTY》フォルダが表示されます。

2. 《SOUND》フォルダを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む

1. パソコンのディスプレー上の《**DR-08**》ドライブをクリックすると、《**SOUND**》フォルダと《**UTILTY**》フォルダが表示されます。
2. パソコンの任意の音声ファイルを《**SOUND**》フォルダにドラッグ&ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、《**SOUND**》フォルダ内を管理することができます。
- 《**SOUND**》フォルダ内にサブフォルダを作成することができます。サブフォルダは、2階層まで作成できます。本機では、3階層以下のサブフォルダおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダ内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくと便利です。
- サブフォルダや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上や“**FILE/FOLDER**”画面上に表示されます。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。本機が自動的に再起動します。
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

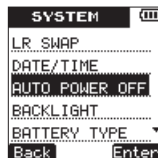
その他の設定

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、およびmicroSDカードのフォーマットを、**"SYSTEM"** メニュー内の各設定項目で行います。

オートパワーオフ設定

"AUTO POWER OFF" 項目で、電池駆動時に、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

1. **SETUP**キーを押して、**"SETUP"** メニュー画面を表示します。
2. **＋**キーまたは**ー**キーを使って **"SYSTEM"** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"SYSTEM"** メニュー画面を表示します。
4. **＋**キーまたは**ー**キーを使って **"AUTO POWER OFF"** 項目を選択（反転表示）します。

5. **►►I "〔Enter〕"** キーを押して、**"AUTO OFF"** 設定画面を表示します。
6. **＋**キーまたは**ー**キーを使って、時間を設定します。

選択肢："OFF"（初期値、自動オフしない）、**"3 MIN."**、**"5 MIN."**、**"10 MIN."**、**"30 MIN."**

7. ►►I “〔Enter〕” キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**“AUTO OFF”** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

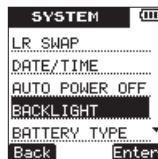
バックライト設定

“BACKLIGHT” 項目で、電池駆動時、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

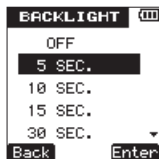
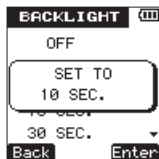
1. **SETUP**キーを押して、**“SETUP”** メニュー画面を表示します。

2. **＋**キーまたは**−**キーを使って **“SYSTEM”** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、**“SYSTEM”** メニュー画面を表示します。

4. **＋**キーまたは**−**キーを使って **“BACKLIGHT”** 項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、**“BACKLIGHT”** 設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って、バックライト点灯時間を設定します。

   選択肢：“OFF”（自動消灯しない）、**“5 SEC.”**（初期値）、**“10 SEC.”**、**“15 SEC.”**、**“30 SEC.”**

7. ►►I **“〔Enter〕”** キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**“BACKLIGHT”** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

バッテリータイプ設定

“BATTERY TYPE” 項目で、使用する電池の種類を選択します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

1. **SETUP**キーを押して、**“SETUP”** メニュー画面を表示します。

2. ＋キーまたは－キーを使って **“SYSTEM”** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I **“〔Enter〕”** キーを押して、**“SYSTEM”** メニュー画面を表示します。

4. ＋キーまたは－キーを使って "BATTERY TYPE" 項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I "〔Enter〕" キーを押して、"BATTERY" 設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って、使用する電池の種類を設定します。

選択肢："ALKALINE"（初期値、アルカリ乾電池）、"NiMH"（ニッケル水素電池）

7. ►►I "〔Enter〕" キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、"BATTERY" 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

消灯モード設定

"STEALTH MODE" 項目で、ディスプレーのバックライトとRECインジケーターの常時消灯を設定することができます。

1. SETUPキーを押して、"SETUP" メニュー画面を表示します。

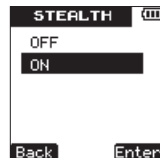
2. ＋キーまたは－キーを使って“SYSTEM”項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I“〔Enter〕”キーを押して、“SYSTEM”メニュー画面を表示します。

4. ＋キーまたは－キーを使って“STEALTH MODE”項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I“〔Enter〕”キーを押して、“STEALTH”設定画面を表示します。

6. ＋キーまたは－キーを使って、設定します。

選択肢：“OFF”（初期値）、**“ON”**（バックライトとRECインジケーターの常時消灯）

7. ►►I“〔Enter〕”キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、“STEALTH”設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

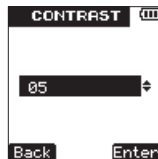
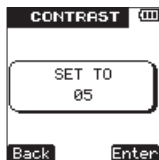
コントラスト設定

“CONTRAST” 項目で、ディスプレーのコントラストを調節します。

1. **SETUP**キーを押して、**“SETUP”** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **“SYSTEM”** 項目を選択（反転表示）します。

3. **►►I “〔Enter〕”** キーを押して、**“SYSTEM”** メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って **“CONTRAST”** 項目を選択（反転表示）します。

5. **►►I “〔Enter〕”** キーを押して、**“CONTRAST”** 設定画面を表示します。
6. **+**キーまたは**−**キーを使って、ディスプレーのコントラストを設定します。

選択肢：“01” ～ **“10”**（初期値：**“5”**）

7. ►►| “〔Enter〕” キーを押すと設定を確定し、設定内容をしばらくポップアップ表示したあと、**“CONTRAST”** 設定画面に戻ります。

8. 設定が終了したら、**HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

フォーマット

“FORMAT” 項目で、microSDカードのフォーマットを行います。

注 意

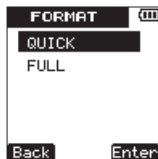
- フォーマットを行うと、カード上の全てのファイルが消去されます。
- フォーマットの実行は、USBバスパワー駆動時、もしくは電池の残量が十分な状態で行ってください。フォーマット中に電池切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

クイックフォーマット

microSDカードをクイックフォーマットします。

1. **SETUP**キーを押して、**“SETUP”** メニュー画面を表示します。
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **“SYSTEM”** 項目を選択（反転表示）します。

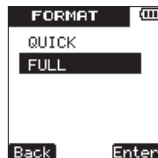
3. ►►| “〔Enter〕” キーを押して、**“SYSTEM”** メニュー画面を表示します。
4. **+**キーまたは**−**キーを使って **“FORMAT”** 項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、“FORMAT” 選択画面を表示します。
6. +キーまたは−キーを使って、“QUICK” を選択（反転表示）します。

7. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、確認のポップアップメッセージを表示します。

8. ►►I “〔Yes〕” キーを押すと、クイックフォーマットが始まります。
9. クイックフォーマットが終了すると、“FORMAT” メニュー画面に戻ります。
10. HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

フルフォーマット

microSDカードをフルフォーマットします。
フルフォーマットでは、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行します。クイックフォーマットと比べて多くの時間がかかります。

1. クイックフォーマットの手順1. ～ 5.を行います。
2. +キーまたは−キーを使って “FULL” を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、ポップアップメッセージを表示します。

4. ►►I “〔Next〕” キーを押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。

5. ►►I “〔Yes〕” キーを押すと、フルフォーマットが始まります。

6. フルフォーマットが終わると “FORMAT” メニュー画面に戻ります。

7. HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

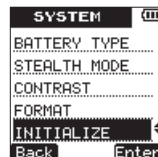
初期設定に戻す

“INITIALIZE” 項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。

1. SETUPキーを押して、“SETUP” メニュー画面を表示します。

2. ＋キーまたは－キーを使って “SYSTEM” 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、“SYSTEM” メニュー画面を表示します。

4. ＋キーまたは－キーを使って “INITIALIZE” 項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、確認のポップアップメッセージを表示します。

6. ►►I “〔Exec.〕” キーを押すと、イニシャライズをしたあと、**“SYSTEM”** メニュー画面に戻ります。

7. **HOME**キーを押して、ホーム画面に戻ります。

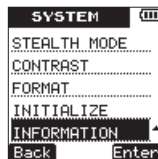
インフォメーション

“INFORMATION” 項目で、本機の各種情報を見ることができます。以下の手順で **“INFORMATION”** 画面を表示します。

1. **SETUP**キーを押して、**“SETUP”** メニュー画面を表示します。

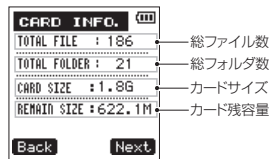
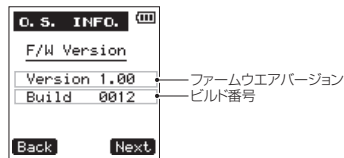
2. **+**キーまたは**−**キーを使って **“SYSTEM”** 項目を選択（反転表示）します。

3. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、**“SYSTEM”** メニュー画面を表示します。

4. **+**キーまたは**−**キーを使って **“INFORMATION”** 項目を選択（反転表示）します。

5. ►►I “〔Enter〕” キーを押して、“INFO” 選択画面を表示します。

6. +キーまたは−キーを使って、希望の項目を選択（反転表示）し、►►I “〔Enter〕” キーを押します。

- **ファイル情報ページ（FILE）：**
  再生中のオーディオファイルの情報を表示します。

- **カード情報ページ（CARD）：**
  セットしているmicroSDカードの使用状況を表示します。

- **システム情報ページ（O.S.：Operation System）：**
  本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンとビルド番号を表示します。

各情報ページにおいて、►►I “〔Next〕” キーを押すことにより、次の情報ページを表示することができます。

7. HOMEキーを押して、ホーム画面に戻ります。

第９章　メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-08では、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
BATTERY EMPTY	電池の残量がありません。電池を交換してください。
NO CARD	カードが無いため、録音できません。
CARD ERROR	カードを正常に認識できません。カードを交換してください。
INVALLD CARD CHANGE CARD	カードが正常でない可能性があります。カードを交換してください。
CARD FULL	カードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
MBR ERROR INIT CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ►►I **“〔Yes〕”** キーを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
FORMAT ERROR FORMAT CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでFATフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。 フォーマットは、必ずDR-08本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ►►I **“〔Yes〕”** キーを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。
WRITE TIMEOUT	カードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。
FILE FULL	フォルダとファイルの総数が制限値（999個）を超えました。不要なフォルダやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
LAYER TOO DEEP	フォルダは､2階層までです。このフォルダ内に新たなフォルダを作成することはできません。

メッセージ	内容と対処方法
MAX FILE SIZE	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいは録音時間が24時間を超えました。
NON-SUPPORTED	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、「第7章　パソコンと接続」をご覧ください。
NO MUSIC FILE	再生ファイルが無いため、SPLIT FILEは実行できません。
CURRENT FILE MP3	MP3ファイルの分割はできません。
CAN'T DIVIDE	SPLIT FILE実行時に分割位置が適切でありません。（曲の先頭、曲の最後）
FILE NAME ERR	SPLIT FILEによりファイル名の文字数が200文字を超えました。SPLIT FILEを行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。SPLIT FILEを行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
DUP FILE NAME	SPLIT FILEにより作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダ内に既に存在します。SPLIT FILEを行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。SPLIT FILEを行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
A-B TOO SHORT	A点とB点の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
FILE NOT FOUND	プレイリストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
FILE NOT FOUND PLAYLIST	プレイリストに登録されているファイルが見つかりません。SOUNDフォルダ内に対象のファイルがあるか確認してください。
NO PLAYLIST	プレイリストにファイルが登録されていません。プレイリストにファイルを登録するか、プレイモードを「PLAYLIST」以外に設定してください。
PLAYLIST FULL	プレイリストが一杯です。プレイリストには、最大99ファイルまで登録可能です。
FILE NOT FOUND MAKE SYS FILE	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態で ►►I **"〔Yes〕"** キーを押すと、システムファイルが作られます。
INVALLD SYSFILE MAKE SYS FILE	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常でありません。このメッセージが表示されている状態で ►►I **"〔Yes〕"** キーを押すと、新しいシステムファイルが作られます。

第9章　メッセージ

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>内容と対処方法</th></tr>
<tr><td>FILE PROTECTED</td><td>リードオンリーファイルのため、削除できません。</td></tr>
<tr><td>NO PB FILE</td><td>再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。</td></tr>
<tr><td>NOT CONTINUED</td><td rowspan="17">これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。
電源を切ることができない場合は、電池やUSB接続を取り外してください。
これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。</td></tr>
<tr><td>FILE OPERATION FAILED</td></tr>
<tr><td>CAN'T SAVE DATA</td></tr>
<tr><td>PLAYER ERROR</td></tr>
<tr><td>DEVICE ERROR</td></tr>
<tr><td>WRITING FAILED</td></tr>
<tr><td>SYS ROM ERR</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERR 50</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 1</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 2</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 3</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 4</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 5</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 6</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 7</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 8</td></tr>
<tr><td>SYSTEM ERROR 9</td></tr>
</table>

第10章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

● 電源が入らない。

↓

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違ってセットしていませんか?

● 本体で操作できない。

↓

- **⏻/ I ／ HOLD**スイッチが矢印方向にセットされていませんか？

● microSDカードを認識しない。

↓

- microSDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

● 再生できない。

↓

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

● 音が出ない。

↓

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- スピーカー設定（**SPEAKER**）がオフになっていませんか？
- モニターシステムはきちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出力レベル設定が最小になっていませんか？

● 録音できない。

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 録音レベルが低くなっていませんか？
- microSDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

● 録音レベルが低い。

↓

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- ゲイン設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

第 10 章　トラブルシューティング

● 録音しようとする音が歪んで聞こえる。

↓

- 入力レベル必要以上に高くなっていませんか？

● 再生音が不自然に聞こえる。

↓

- 再生のスピードを変えていませんか?

● ファイルが消去できない。

↓

- ファイルの属性が読みとり専用になっていませんか？

● パソコン上に本機のファイルが表示されない。

↓

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

定格

記録メディア

microSDカード（64MB ～ 2GB）
microSDHCカード（4GB ～ 32GB）

録音再生フォーマット

WAV：44.1/48/96kHz、16/24ビット
ステレオもしくはモノラル
MP3：44.1kHz、32/64/96/160kbps（モノラル）
44.1kHz、64/128/192/320kbps（ステレオ）

入出力定格

オーディオ入出力定格

MIC/EXT. IN端子

コネクター：1/8”（3.5mm）ステレオミニ

MIC選択時

入力インピーダンス：200kΩ
基準入力レベル：[LOW]−45dBV、[HIGH]−61dBV
最大入力レベル：[LOW]−29dBV、[HIGH]−45dBV

LINE選択時

入力インピーダンス：200kΩ
基準入力レベル：[LOW]−19dBV、[HIGH]−31dBV
最大入力レベル：[LOW]−3dBV、[HIGH]−3dBV

Ω /LINE OUT端子

コネクター：1/8”（3.5mm）ステレオミニ
出力インピーダンス：200Ω
基準出力レベル：−18dBV
最大出力レベル：−2dBV
最大出力：5mW ＋ 5mW（16Ω負荷時）

内蔵スピーカー

100mW（モノラル）

コントロール入出力定格

USB端子

コネクター：Micro-Bタイプ
フォーマット：USB2.0 HIGH SPEED（480Mbps）

第 11 章　仕様

オーディオ性能

周波数特性

20Hz-20kHz（44.1kHz、EXT. IN⇒LINE OUT）
20Hz-22kHz（48kHz、EXT. IN⇒LINE OUT）
20Hz-40kHz（96kHz、EXT. IN⇒LINE OUT）

接続するパソコンの動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト（**http://www.tascam.jp/**）ご確認ください。

Windowsマシン

Pentium 300MHz以上
128MB以上のMemory
USB ポート（推奨：USB2.0）

Macintoshマシン

Power PC、iMac、G3、G4　266MHz以上
64MB以上のMemory
USB ポート（推奨：USB2.0）

推奨USBホストコントローラー

Intel 製チップセット

サポートOS

Windows：Windows XP、Windows Vista、Windows 7
Macintosh：Mac OS X 10.2以上

一般

電源

単4形電池2本
（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）
USBバスパワーから供給

消費電力

1W（最大消費時）

電池持続時間（連続使用時）

アルカリ乾電池使用時
約6時間（MP3、JEITA録音時間）
約6時間（MP3、JEITA音楽再生時間）

外形寸法

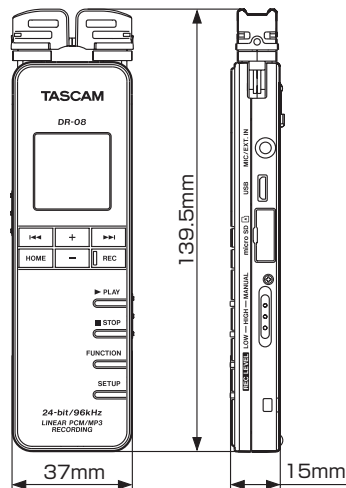
37 x 139.5 x 15mm（幅 x 高さ x 奥行き）

質量

56g（電池を含まず）

動作温度

0～40℃

寸法図

＊ 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

＊ 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は, 予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530
東京都多摩市落合 1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China